

## 病院実習・東京衛生病院

同じ理念を共有する病院で経験を重ね

患者様の立場に立った献身的な看護を実践する



### 実習を通じて自分の未熟さ 看護の奥深さを実感しています。

3年次後半からの流域別実習では、一人の患者様を受け持ち、患者様のために自分ができることを考え、実施することを学びマス。また、たくさんの現場の看護師さんから看護について学んでいます。

担当した患者様に、「一人でやれないのではダメだ」と言われたとき、自分の未熟さと自信のなさを実感しました。テストで100点をとっても、学校の看護技術の授業でうまく行っても、実際は予定通りには行えませんが。看護の学びの奥深さを実感するとともに、何事も知識と技術をしっかりと習得すること、そして経験をしっかりと積むことが大切と感じました。

**島田 涼華**さん Suzuka Shimada  
私立 海星女子学院高等学校出身  
趣味：フルーツ、百人一首

患者様のために良いケアプランをたてるために、実習前にはあまり開かなかった教科書を開くようになりまし。自分の知らないこと、学ぶことがまだまだたくさんとると強く感じています。

ある実習で、百人一首が好きな患者様に、上肢の運動を行う目的で20枚くらい百人一首を作って持って行き、一緒に運動を行いました。次の日、患者さんが引き出しから嬉しそうに私が作った百人一首を出して広げてくれた時、とても嬉しかったです。看護師を目指して本当に良かったと思っています。

高校の進路室にある大学一覧を見て三育を知り、少人数制と学寮があるので三育を選択。「寮生活は本当に楽しいです。三育に来ている人はみんな笑顔です。三育だから学べること、三育でしかできないこと、たくさんあります。一步踏み出して、三育に来てみてください。笑顔で過ごす4年間になります」と語る島田さん。